

広島大学学術情報リポジトリ
Hiroshima University Institutional Repository

Title	「顔、心」を使った日本語の慣用語句
Author(s)	韓, 東秀
Citation	日本語・日本文化研修プログラム研修レポート集, 15期 : 37 - 42
Issue Date	2001-03-31
DOI	
Self DOI	
URL	https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00038902
Right	
Relation	



「顔、心」を使った日本語の慣用語句

韓 東秀

「顔」を使った日本語の慣用語句

1. 前書き

それが望ましくないというのは確かなんだけど人を初めて見た時の第一印象は何と言っても顔によって決め付けられることが多いはず。また、人体部分の中で最も注目され、人を特徴づける部分が「顔」。「その人を知っている」と言える最低条件の一つは「顔を覚える」ことであり、顔写真は人のアイデンティティを証明するために必須となる。「顔を見せる・顔を出す」という表現も、「顔」を人を代表するものとして把握した言い方。こんなに重要な役割を果たしている「顔」という言葉は日本語の中ではどんな風に使われているのだろうか。

「顔」という言葉の持っているいろんな意味と「顔」という言葉を使っている慣用語、それとも諺にはどんなものがあるのか調べてみよう。

2. 「顔」の意味

人・動物の頭部のうち、目・鼻・口のある前面の部分。

「～を洗う」「～が合わせられない(＝面目なくて相手に会えない)」「～がそろ(＝顔ぶれがそろ)」「～を貸す(＝頼まれて人に会う)」

[美醜の対象として見た]顔の様子。顔だち。容貌。

「整った～」「～を直す(＝化粧をしない)」

[心持ちのあらわれた]顔の様子。表情。[接尾語的にも使う]

「いやな～をする」「～を曇らせる(＝表情を暗くする)」「人待ち～」「したり～」

面目。体面

「～にかかわる」「～が立つ(＝面目をたもつ)」「～がつぶれる(＝面目を失う)」

その社会「でよく・信用されている(知られている)こと。

「芸能界ではちょっとした～だ」「～が売れる(＝広く世間に知られる)」「～が利く(＝便宜をはかってもらえる)」「～が広い(＝つきあいが広い)」

ある物の、表にあらわれて目立つ部分。

「受け付けは会社の顔だ」

3 .「顔」の入った諺と慣用句

1) 秋の雨が降れば猫の顔が三尺になる

秋の雨が降る日は、暖かくなって寒がりの猫が顔を長くして喜ぶ。秋雨の降る日は暖かいことのこたえ。

2) 会わせる顔がない

その人に対して不義理なことをし、会いにくいほどに恥ずかしくて面目ないことのこたえ。

[例文] 「借りた本をなくして、持ち主に会わせる顔がない。」

3) 大きな顔をする

偉そうな、横柄な態度をすることのこたえ。

[例文] 「社長になって大きな顔をしていられるのは、いったい誰のおかげだ。」

悪いことをしながら、平気な態度をすることのこたえ。

[例文] 「さんざんあくどいことをして今の財産を作ったのに、いつも大きな顔をして暮らしている。」

[類句] 大きい面をする。

4) 顔が売れる

評判が高くなり、広く世に知られる。

[例文] 「彼女は今テレビで顔が売れている。」 「彼は大胆な行為がみんなに知れ、町内で顔が売れるようになった。」

5) 顔が利く

人によく知られていて、便宜をはかったり無理を通したりしてもらえることのこたえ。

[例文] 「顔が利くので、どの映画館もただで入れる。」 「父は昔からその店には顔が利く。」

6) 顔が揃う

出席すべきひとが揃う。

[例文] 「彼が来てやっと顔が揃った。」

7) 顔から火が出る

ひどく恥ずかしい思いをし、顔を赤くすることのこたえ。

[例文] 「子供がとんだことをして、顔から火が出る思いだった。」

8) 顔に泥を塗る

体面を傷つけて恥じをかかせることのこたえ。

[例文] 「恩人の顔に泥を塗るようなことを彼は平気でやる。」

[類句] 顔を汚す

9) 顔に紅葉を散らす

若い女性が恥ずかしくて顔を赤らめることのこたえ。

[例文] 「恋人のことでからかわれて、彼女は顔に紅葉を散らしたようになった。」

10) 顔を貸す

決着を付けるために、頼まれて人と会ったり人前に出たりする。

11) 顔を立てる

他人の体面を保たせる。

[例文] 企画者の顔を立てて原案どおり決めた。」

12) 地蔵の顔も三度

[類句] 仏の顔も三度

(慈悲深い仏でも三度も顔を撫でられれば怒るの意) どんなに温和で情け深い人でも何度もひどいことをされればついには怒るということ。

13) 知らぬ顔の半兵衛(はんべえ)

知っていながら知らないふりをして取り合わないこと。

[例文] 「知らぬ顔の半兵衛を決め込む。」

14) 涼しい顔

自分にも責任や関係があるのに、何の関わりもないような平気な様子をしている態度のたとえ。

[例文] 「これほど損をさせながら涼しい顔でいられるとは驚いた人だ。」

15) 何食わぬ顔

自分は何も知らず、また関係がないというような澄ました顔つき、態度のこと。

[例文] 「開会の時刻に遅れたが、何食わぬ顔で自分の席に着いた。」

16) 猫が顔を洗うと雨

猫が、顔を洗うような動作で顔を擦ると雨が降るということ。

参考> 各地で言われている俗説。特に猫の手が耳を越せば雨とするものもある。

17) 顔を売る

その人の存在を良く知らせることのたとえ

[例文] 「選挙に備えて早くから顔を売っておく。」

18) 顔を出す

(表に) 表わす。[例文] 「太陽が顔を出す。」

(パーティーなどに) 出席する。[例文] 「パーティーに顔を出す。」

19) 顔を直す

女の人が化粧をしなおすことを言う。

[例文] 「彼女はいつも満員電車の中でだらしなく顔を直す。」

20) 顔が広い

ある方面に付き合いが広いことのたとえ。

[例文] 「あのひとはスポーツ界に顔が広い。」

「心」を使った日本語の慣用語句

1. 前書き

「顔」が人間の外面を表わす言葉だとしたら、「心」は人間の内面を表わす言葉だと言えるはず。「心」と言えば、人間とその他の動物の体に宿って、心理作用のもとになると考えられるものである。しかし、「心」は心理作用のうち、特に、知性より感情的な働きをするものと考えられる点で、「気」とは違う。「気がつく」とは言うが、「心がつく」とは言わず、「心を痛める」は、「気を痛める」とは言い替えられないことで説明できる。さて、「顔」とある意味では反対だと言える「心」という言葉の意味と、それを使った慣用語句を調べてみよう。

2. 「心」の意味

人間の体に宿り、知識・感情・意志などの働きのもとになると考えられるもの。またその作用。「～から詫びる」「～が広い」「～の病」「～の美しい人」「～温まる話し」「～の目を開く」「～が狭い」「～が変わる」「行くつもりだったけど、～が変わって行くのを止めた。」「どうもあの人の～は分からない。」「～に任せる」「～を砕く」「～を込めてもてなす」「～ある人には分かる春の風情」

芸能などの持つ、深い意味。理念。

「能楽の～」「茶の～」

3. 「心」の入った諺と慣用語

1) 諦めは心の養生(ようじょう)

いつまでも過去の失敗を嘆かずに、きっぱりと諦めることは、心のためによいということ。

2) 頭剃るより心剃れ

頭だけ剃って形ばかり僧侶になるよりも、まず心を清らかにせよ。形式だけを整えるよりも精神の修養が大切であるということ。

[類句] 衣を染めんより心を染めよ

3) 浮き世は心次第

人生は、心の持ち方で悲観的にもなり楽観的にもなるということ。

4) 親思う心に勝る親心

子が親の身を案じる気持ちよりも、親が子の身を案じる気持ちの方が深いということ。

5) 気は心

ささやかなことでも、それは誠意の現われであるということ。

[例文]「気は心と申します。どうぞお納めください。」

6) 心に垣をせよ

油断をせず、用心すべきであるということ。

7) 心を鬼にする

大きな目的のために、むごいと思いながら親しい者に対して厳しい態度を取ることのたとえ。

[例文]「彼のミスは小さいが、綱紀肅正のため心を鬼にして減俸処分にした。」

8) 心を砕く

心配して考え悩み、解決のためにいろいろと努力をする。

[例文]「劣等生にも自信をもたせようと心を砕いた。」「僕の考えをみんなにわかってもらおうと心を砕く。」

9) 心を許す

相手を信頼し、警戒しなくなって打ち解けること。

[例文]「心を許した人に裏切られることほど、つらいものはない。」「心を許して話し合える友達がほしい。」

油断すること。

[例文]「おしゃべりな人には心を許すな。」

10) 言葉は心の使い

言葉は思っていることを表わす道具であるから、言葉によってその人の考え・気持ちが分かるということ。

11) 財布の底と心の底は人に見せるな

他人にはむやみに自分の計略・手段を知らせたり、本心を明かしたりするものではないということ。

12) 見目(みめ)より心

人は、顔かたちが美しいことよりも心が美しいことが大切であるということ。

13) 心に描く

想像すること。

[例文]「私は時々自分がスターになった姿を心に描いてみる。」

14) 心に焼き付く

強く印象に残ること。

[例文]「富士山の夕焼けの美しさが今も心に焼き付いている。」

15) 心にもない

本音ではないこと。本当はそう思っていないこと。

[例文]「俺の前ではそんな心にもないおせじなんかは要らない。」

参考文献

・時事エリート日韓辞典 — YBM 時事英語社 辞典編纂室

